

■ 輸送の安全に関する取り組み

させばパール・シー株式会社は、運輸安全マネジメントに関する取り組みについて、公式サイトにおいて輸送の安全に関する情報を公表しています。

【安全方針】

当社は輸送の安全確保を基本理念として、法の遵守と安全を最優先とし、安全マネジメント態勢を確立し、安全運航の徹底を実行します。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 代表取締役は輸送の安全の確保が事業経営の根底であることを深く認識し、社内においては主導的な役割を果たします。また、現場における安全に関する声に耳を傾け現状を十分に踏まえつつ、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全従業員に徹底いたします。
- (2) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan⇒Do⇒Check⇒Act）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すこと、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 令和6年度は、ヒヤリハットを分析しヒューマンエラーゼロを目指す
- (2) 令和6年度は、船体や機関の点検、保守整備を毎日確実に実施する

※令和5年度の重点施策と達成状況

安全重点施策	実施に対する具体案	途中経過（運航管理者）	総括（経営トップ）
(1) 安全運航に関する対策の励行	一隻体制・船長の減員に伴い、注意地点での船長・一航士による確認事項を確実に行う	10月から新船長の教育訓練が始まった事もあり、船長・一航士が初心にかえり確認事項を確実にっており、安全に対する意識が更に高まっている	安全運航の対策を日々の運航において確実に実施することにより、安全な運航をすることができた。また、ヒヤリハットについて会議で話し合いお互い共有し、安全対策に活かすことができている。
(2) 機関運転監視の徹底及び予防整備の実施	運航中の運転監視を確実に実施する	機関点検・運航中の運転監視などを確実に実施することにより、年度を通して計画している整備作業を含めて、実施してよかったと思える予防整備が5件あった	ちょっとした異常も見逃さず会議などで共有し乗組員全員で注意深く経過を見て必要に応じて早めに整備を行っていた。